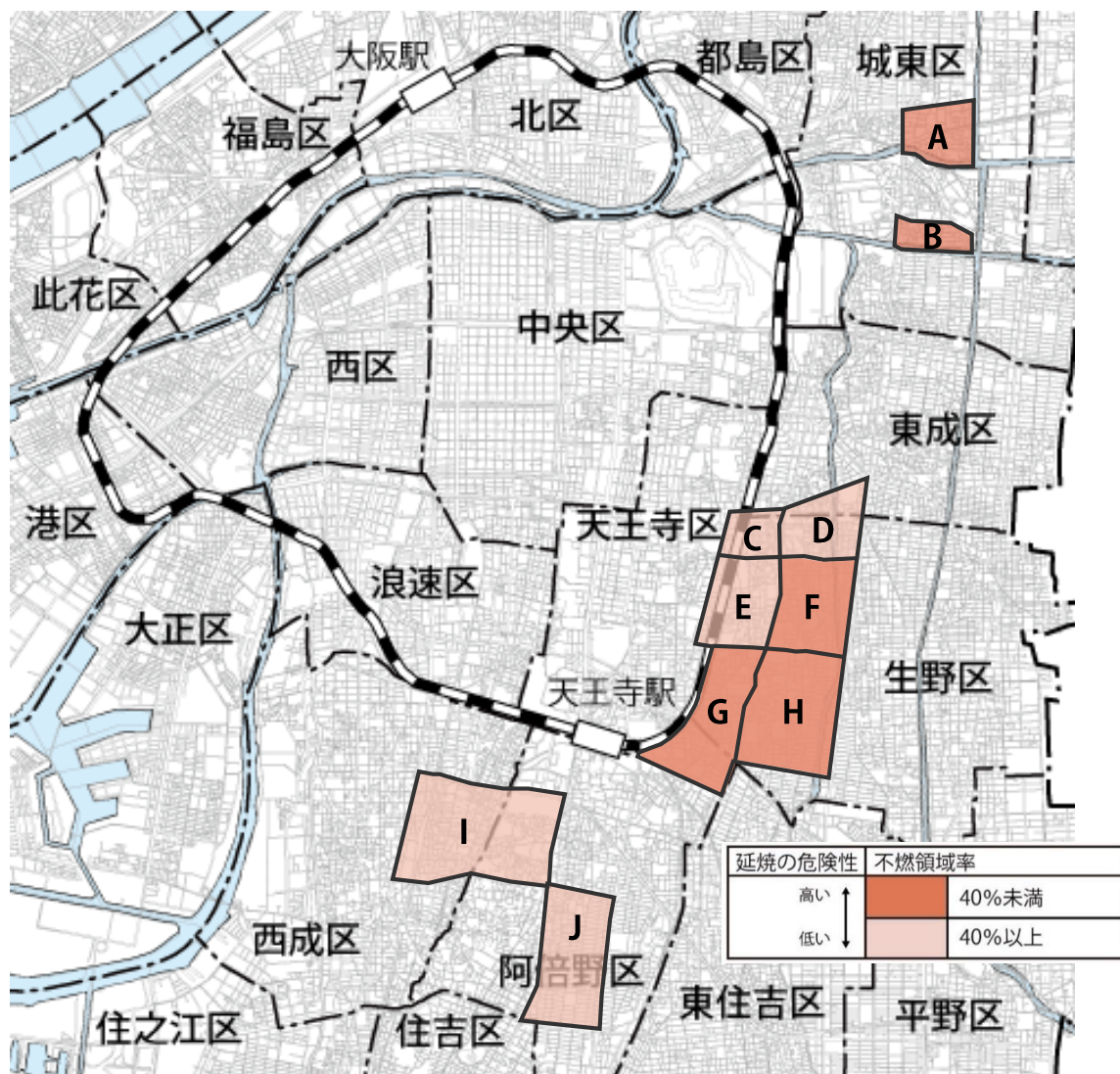


重点対策地区における不燃領域率の状況（令和4年度末時点）

不燃領域率は、市街地大火の危険性を判定するための市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、建物の不燃化や道路、公園などの空地の状況から算定される。40%以上になると、市街地の焼失率は急激に低下し、延焼の危険性は低くなる。



防災街区	街区面積	不燃領域率
A	35ha	39.2%
B	25ha	39.4%
C	24ha	43.3%
D	46ha	41.3%
E	56ha	43.6%

防災街区	街区面積	不燃領域率
F	65ha	30.2%
G	79ha	39.6%
H	96ha	39.3%
I	132ha	44.4%
J	83ha	42.3%

※令和3年3月に国が公表している「地震時等に著しく危険な密集市街地」（＝重点対策地区）を範囲とした不燃領域率の状況を色分けして示しています。